

2016年6月16日

No.252

又市征治 国政だより

又市征治事務所

発行責任者 東 篤

富山市下新町 8-16

TEL 076-441-0800

HP: www.s-mataichi.com

3月24日、総務委員会において一般質疑(総務委員会所管に係るテーマ全般についての質疑)が行われました。又市征治議員は、NHKの一連の不祥事問題を取り上げました。

一連の不祥事の原因はどこあると考えているか



又市議員はNHK予算が3年連続で全会一致では承認されなかったのは、タクシーの不正利用、「クローズアップ現代」におけるやらせのような演出、NHK関連会社の架空発注、横領、土地購入問題等、事業運営の在り方、人事の問題等があると指摘しました。それを踏まえて、NHK会長、経営委員長に一連の不祥事の原因をどこにあると考えているのか質しました。

靱井会長は、自分のことは棚に上げて、職員の組織に対する責任感欠如を指摘し、浜田経営委員長は、公共放送NHKの社会的使命と責任に対する自覚の欠如と答弁しました。

「クローズアップ現代」に関するBPO意見への対応

又市議員は、「クローズアップ現代」についてNHKの報告について、BPOが「2つの番組の取材、制作過程について放送倫理の観点から検証が不十分であるとの印象を拭えなかった」との見解を發表したことへのNHKの見解と、責任問題が明らかではない段階で該当番組を制作した大阪局長が理事へ就任したことはおかしいのではないかと、経営委員会の見解を求めました。

靱井会長は、やらせであったか、ではなかったかが問題ではなく、疑惑が持たれたこと自体が問題であったと答弁しました。浜田経営委員長は、大阪局長の理事への就任は問題ではなかった、給与の自主返納で責任問題は落ち着いたという、実に無責任な見解を示しました。

NHKは不祥事のたびに対策を打ち出すが、泥縄的ではないか

又市議員は、2014年のNHK出版の不祥事が発覚した時に、無駄遣いと言われても弁解できないような内部と外部の2つの調査が総額1億円以上かけて行われた理由、調査にもかかわらずアイテックの不正を見抜けなかったことについての責任問題を質しました。さらに一昨年8月には、NHK関連団体ガバナンス調査委員会が、「再発防止策・ガバナンスに関する提言」と、「NHK関連団体のガバナンス根本的解決についての提言」を取りまとめ、昨年6月には、関連団体ガバナンス向上プロジェクト報告書が、そして今年2月に、「NHK関連団体に対する指導・監督の強化と抜本改革」、「NHKアイテック不正事案、構造的な原因究明と再発防止策」の2つの文書が公表されているが、どれも再発防止につながっていないと又市議員は指摘し、NHK内でどの程度真剣に検討されたのか疑念を表明しました。そしてNHKは公共放送としてどのような経営方針、哲学を持って、その実現のために関連会社それぞれの位置付けを含めてどういう体制が望ましいか、このグランドデザインを描くことこそが大事なのではないかと指摘し、NHKの見解を求めました。

NHK今井理事は、2つの調査は性格が異なると屁理屈を並べ、アイテックの不祥事を見逃したことへの責任については答弁しませんでした。不祥事に対する提言実現に向けたNHK検討状況については、靱井会長は、問題点は浮き彫りになってきているので実行あるのみとお茶を濁し、正面からは答弁しませんでした。